

SQL Server 2022 Express インストール方法

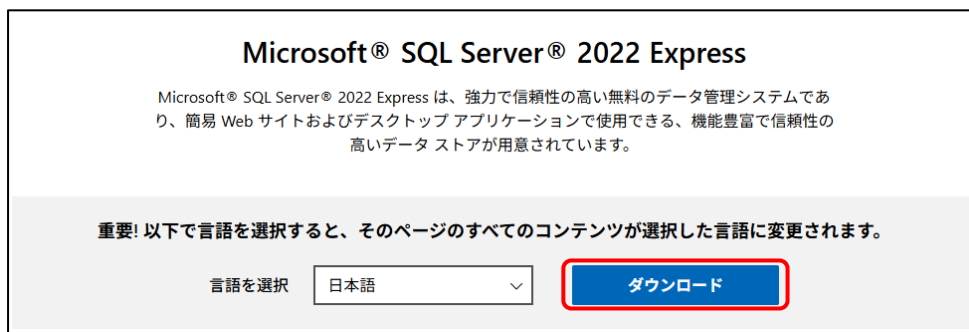
手順 1 SQL Server 2022 Express をダウンロードします

インストールする PC でインターネットが利用できる場合

必要なファイルをダウンロードしながらインストールしてください。

1-1 Microsoft 公式ダウンロードページにアクセスしてください。（「SQL 2022 ダウンロード」などで検索）

1-2 画面中央にあるタブで「日本語」を選択し、「ダウンロード」をクリックしてください。

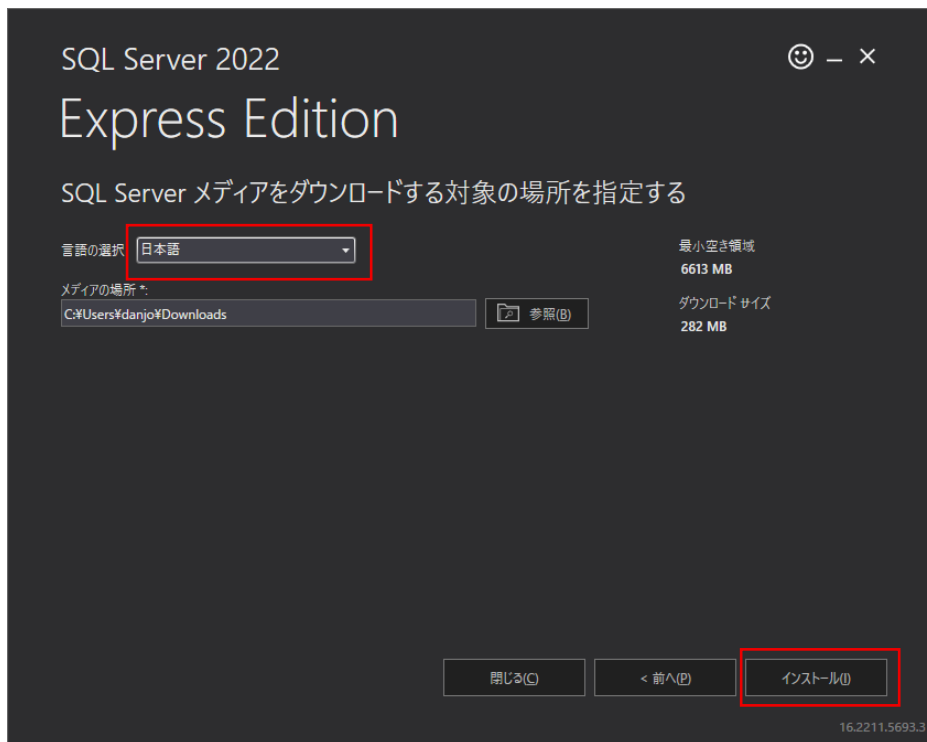


1-3 ダウンロードしたファイル「SQL2022-SSEI-Expr.exe」をダブルクリックして起動してください。

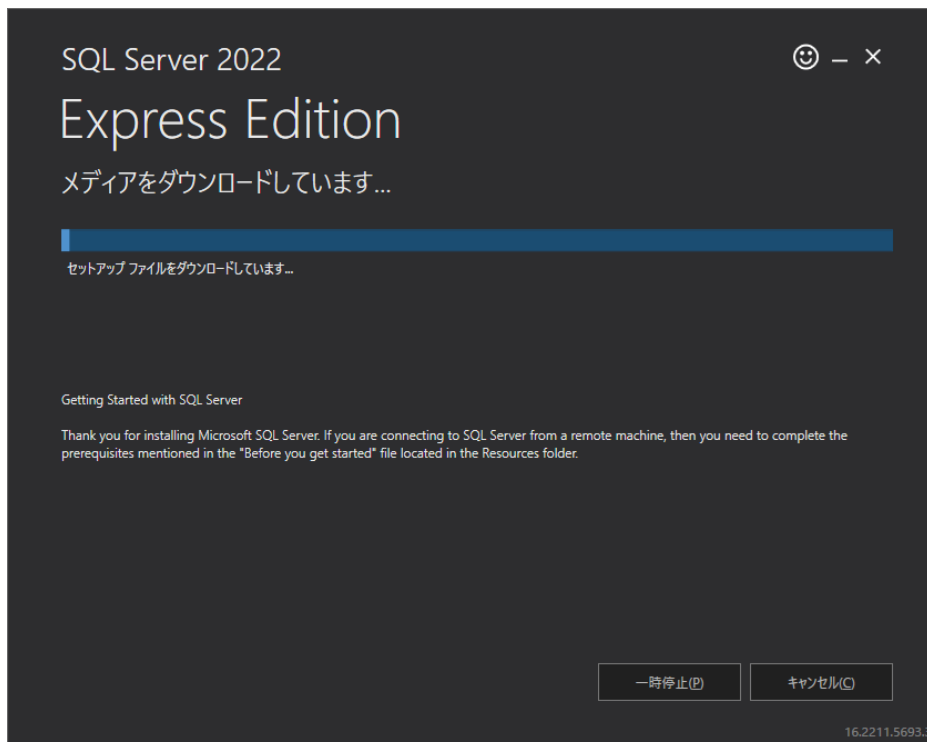
1-4 インストール開始画面が表示されたら「カスタム」を選択してください。「基本」を選択するとアプリが使用できなくなりますので、ご注意ください。



1 - 5 「言語の選択」で「日本語」を選択し、「メディアの場所」でダウンロードする場所を指定して、「インストール」をクリックしてください。



1 - 6 インストーラのダウンロードが始まりますので、完了するまでお待ちください。



1 - 7 ダウンロードが完了すると、自動的にインストールが始まります。→ 手順 2 へ

手順2 SQL Server 2022 Express をインストールします

インストールが開始されていない場合は、手順1をご確認ください。手順1でのダウンロード方法によって、画面や順番が異なる場合があります。ここでは、「インストールするPCでインターネットが利用できない場合」にダウンロードを行った手順を説明しています。

2-1 新規インストールを実行してください。



2-2 「ライセンス条項と次に同意します。」と記載されているチェックボックスにチェックを入れ、「次へ」をクリックしてください。



問題がなければ、このページは表示されません。

コンピューターの再起動に関するエラーが表示された場合は、「キャンセル」をクリックしてパソコンを再起動してください。再起動後、手順 1 から再度インストールを開始してください。

SQL Server 2014 セットアップ

グローバル ルール

セットアップのグローバル ルールでは、SQL Server セットアップ サポート ファイルのインストール時に発生する可能性がある問題を特定します。
セットアップを続行する前に、エラーを修正しておく必要があります。

ライセンス条項

グローバル ルール

Microsoft Update

製品の更新プログラム

セットアップ ファイルのインストール

インストール ルール

機能の選択

機能ルール

機能構成ルール

インストールの進行状況

完了

操作が完了しました。成功 8、失敗 1、警告 0、スキップ 0。

詳細の非表示(S) <<

再実行(R)

[詳細レポートの表示\(V\)](#)

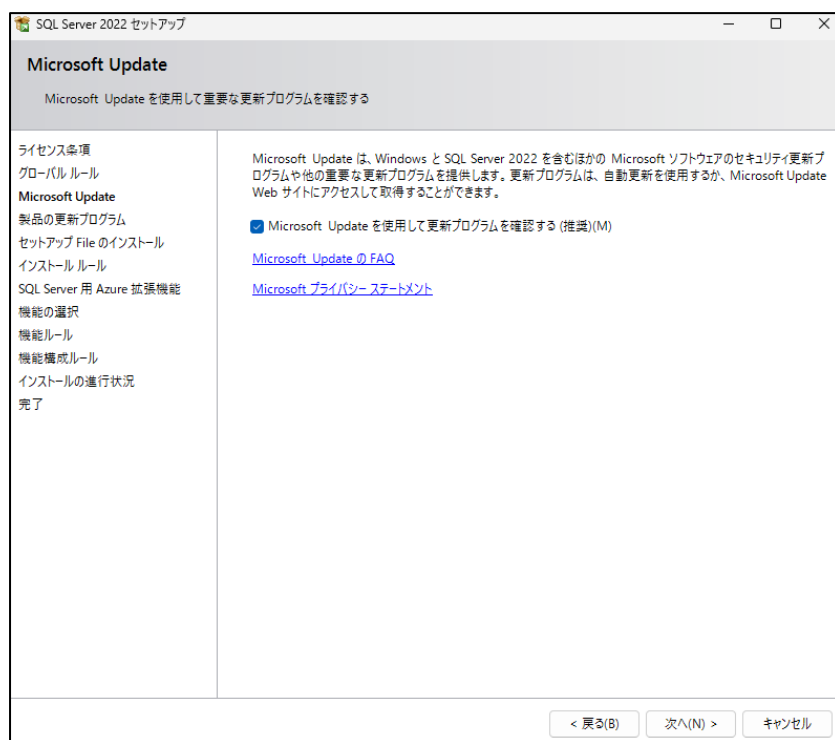
ルール	状態
✓ セットアップ管理者	合格
✓ アカウントの権限の設定	合格
✗ コンピューターの再起動	失敗
✓ WMI (Windows Management Instrumentation) サービス	合格
✓ SQL Server レジストリ キーの整合性の検証	合格
✓ SQL Server インストール メディア上のファイルへの長いパス名	合格
✓ 互換性がない SQL Server セットアップ製品	合格
✓ Windows 2008 R2 および Windows 7 用の .NET 2.0 および .NET 3.5...	合格
✓ Edition WOW64 プラットフォーム	合格

< 戻る(B)

次へ(N) >

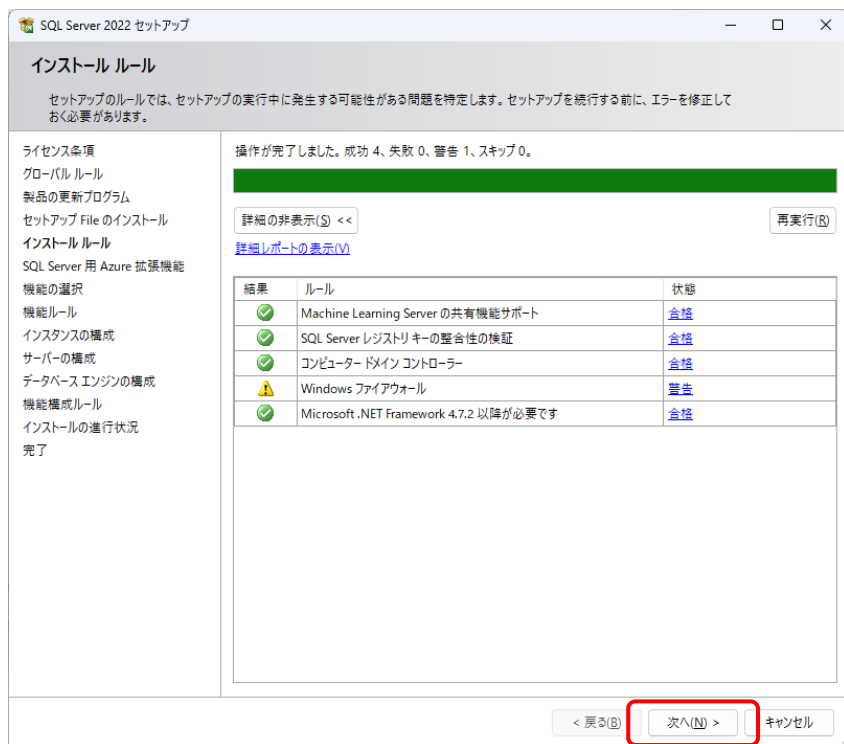
キャンセル

2 - 3 Microsoft Update の画面が表示されますので、チェックを入れ、「次へ」をクリックしてください。



2 - 4 オフライン PC ではエラーが表示されますが、そのまま続行してください。

2-5 インストールルールの確認が表示されますので、「次へ」をクリックしてください。「次へ」をクリックできない場合は、結果を確認してください。



2-6 SQL Server 用 Azure 拡張機能の使用確認が表示されますので、「SQL Server 用 Azure 拡張機能」のチェックを外し（他の入力欄が使用不可になります）、「次へ」をクリックしてください。

SQL Server 2022 セットアップ

SQL Server 用 Azure 拡張機能

Microsoft Defender for Cloud, Purview、および Azure Active Directory を有効にするには、SQL Server 用の Azure 拡張機能が
必要です。

ライセンス条項
グローバル ルール
製品の更新プログラム
セットアップ File のインストール
インストール ルール
SQL Server 用 Azure 拡張機能
機能の選択
機能ルール
インスタンスの構成
サーバーの構成
データベース エンジンの構成
機能構成ルール
インストールの進行状況
完了

☐ SQL Server 用 Azure 拡張機能

SQL Server 用の Azure 拡張機能をインストールするには、Azure アカウント
またはサービス プリンシパルを指定して、SQL Server インスタンスを Azure に
対して認証します。このインスタンスが登録されるサブスクリプション ID、リソー
ス グループ、リージョン、テナント ID も指定する必要があります。各パラメーター
の詳細については、<https://aka.ms/arc-sql-server> を参照してください。

☐ Azure ログインを使用する
☒ サービス プリンシパルを使用する

Azure サービス プリンシパル ID*

Azure サービス プリンシパル シークレット
*

Azure サブスクリプション ID*

Azure リソース グループ*

Azure リージョン*

Azure テナント ID*

プロキシ サーバーの URL (省略可能)

< 戻る(B) **次へ(N) >** キャンセル

2-7 機能の選択が表示されますので、「インスタンス機能」以下のチェックをオンにし、「次へ」をクリックしてください。

SQL Server 2022 セットアップ

機能の選択

インストールする Express 機能を選択します。

ライセンスト
グローバル ルール
製品の更新プログラム
セットアップ File のインストール
インストール ルール
SQL Server 用 Azure 拡張機能
機能の選択
機能ルール
インスタンスの構成
サーバーの構成
データベース エンジンの構成
機能構成ルール
インストールの進行状況
完了

Reporting Services をお探しますか? [Web からダウンロードする](#)

機能の選択

☒ インスタンス機能
☒ データベース エンジン サービス
☒ SQL Server レプリケーション

共有機能
再頒布可能な機能

機能の説明:

SQL Server インスタンスのインスタンス機能は、構
成と操作が、他の SQL Server インスタンスとは分
離されています。SQL Server の複数のインスタ
ンスを、同じコンピュータでサイドバイサイドで操作で
きます。

選択した機能に必要なコンポーネント(P):

インストール済み:
Windows PowerShell 3.0 or higher
Microsoft Visual C++ 2017 再頒布可能パッケー

必要なディスク領域(D):
ドライブ C: 994 MB 必要、254967 MB 使用可能

すべて選択(A) すべて選択解除(D)

インスタンス ルート ディレクトリ(R):

共有機能ディレクトリ(S):

共有機能ディレクトリ (x86)(X):

< 戻る(B) **次へ(N) >** キャンセル

2-8 インスタンスの構成が表示されますので、名前が「SQLEXPRESS」となっていることを確認し、「次へ」をクリックしてください。名前が異なる場合は、その名前を記録しておいてください。

SQL Server 2022 セットアップ

インスタンスの構成

SQL Server インスタンスの名前およびインスタンス ID を指定します。インスタンス ID は、インストール パスの一部になります。

ライセンス条項
グローバル ルール
製品の更新プログラム
セットアップ File のインストール
インストール ルール
SQL Server 用 Azure 拡張機能
機能の選択
機能ルール
インスタンスの構成
サーバーの構成
データベース エンジンの構成
機能構成ルール
インストールの進行状況
完了

☐ 既定のインスタンス (D)
☒ 名前付きインスタンス (N) * **SQLEXPRESS**

インスタンス ID (I): **SQLEXPRESS**

SQL Server デイレクトリ: **C:\Program Files\Microsoft SQL Server\MSSQL16.SQLEXPRESS**

インストール済みのインスタンス (I):

インスタンス名	インスタンス ID	機能	エディション	バージョン
---------	-----------	----	--------	-------

< 戻る(B) **次へ(N) >** キャンセル

2-9 サーバーの構成が表示されますので、そのまま「次へ」をクリックしてください。

SQL Server 2022 セットアップ

サーバーの構成

サービス アカウントと照合順序の構成を指定します。

サービス アカウント 照合順序

各 SQL Server サービスに別々のアカウントを使用することをお勧めします (M)

サービス	アカウント名	パスワード	スタートアップの種類
SQL Server データベース エンジン	NT Service\MSSQL\$SQL...		自動
SQL Server Browser	NT AUTHORITY\LOCAL ...		無効

☒ SQL Server データベース エンジン サービスに [ボリュームの保守タスクを実行] 特権を付与する (G)

この特権は、データ ページの領域の解放を回避することによってファイルの瞬時初期化を有効にします。これにより削除されたコンテンツにアクセスを許可するため、情報の開示につながる可能性があります。
[詳細はこちらをクリック](#)

< 戻る(B) **次へ(N) >** キャンセル

※最重要ポイント（ここを飛ばすと接続できません）

混合モードにチェックを入れ、パスワードを入力してください。パスワードは 8 桁で入力し、後で使用するため必ず控えておいてください。入力後、「次へ」をクリックするとインストールが開始されます。ご使用状況によっては、インストールに 10 分程度かかる場合があります。

SQL Server 2022 セットアップ

データベース エンジンの構成

データベース エンジンの認証セキュリティ モード、管理者、データ ディレクトリ、TempDB、並列処理の最大限度、メモリの制限、Filestream の設定を指定します。

ライセンス条項
グローバルルール
製品の更新プログラム
セットアップ File のインストール
インストール ルール
SQL Server 用 Azure 拡張機能
機能の選択
機能ルール
インスタンスの構成
サーバーの構成
データベース エンジンの構成
機能構成ルール
インストールの進行状況
完了

サーバーの構成 データ ディレクトリ TempDB メモリ ユーザー インスタンス FILESTREAM

データベース エンジンの認証モードおよび管理者を指定します。

認証モード

☐ Windows 認証モード(W)

☒ 混合モード (SQL Server 認証と Windows 認証)(M)

SQL Server のシステム管理者 (sa) アカウントのパスワードを指定します。

パスワードの入力(E):

パスワードの確認入力(Q):

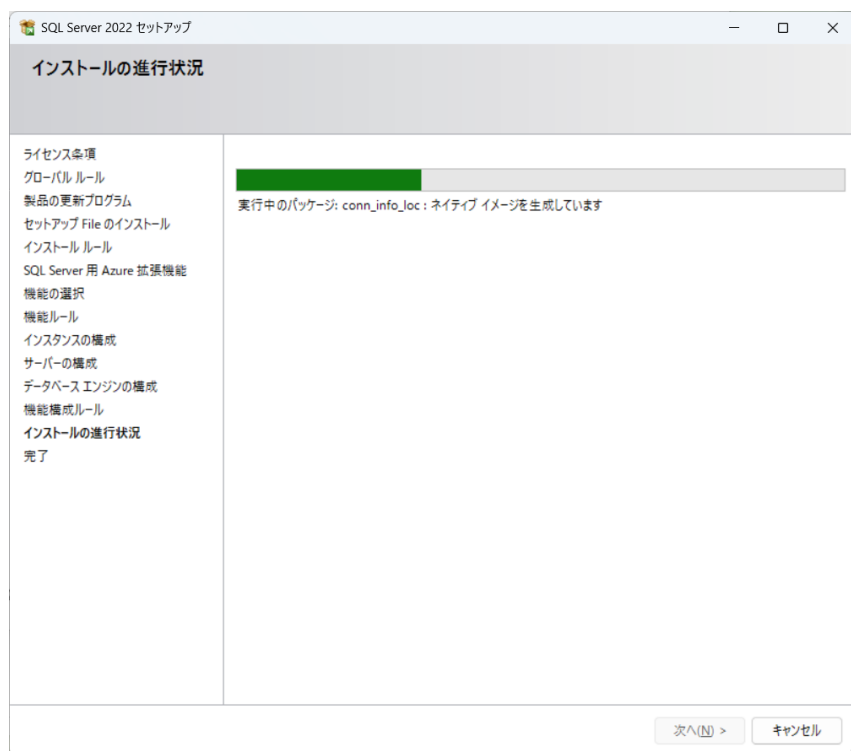
SQL Server 管理者の指定

現在のユーザーの追加(C) 追加(A)... 削除(R)

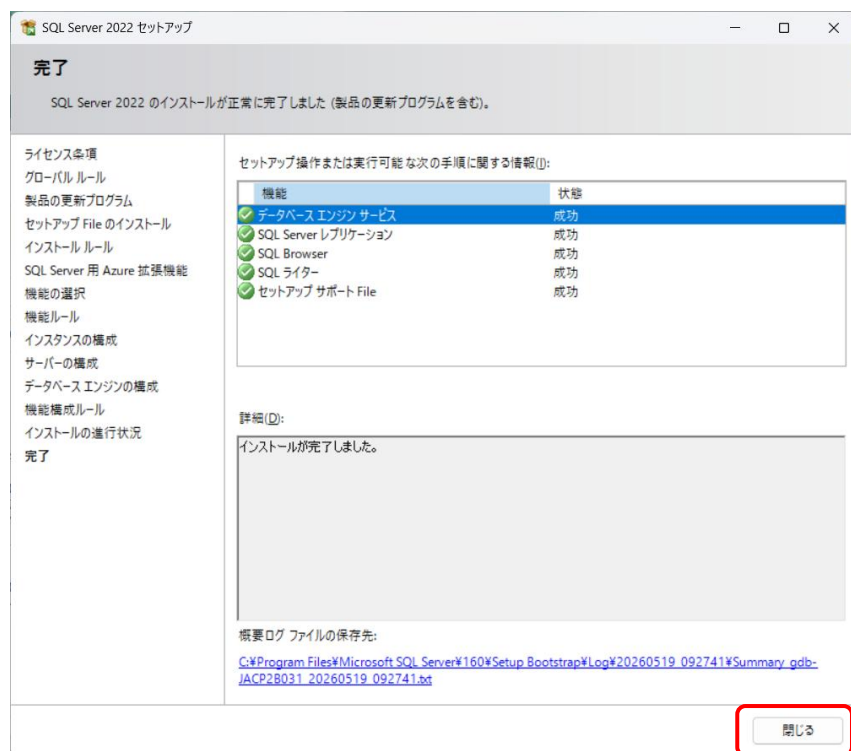
SQL Server の管理者には、データベース エンジン に対する無制限のアクセス権があります。

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

2-10 インストールの完了までしばらくお待ちください。



2-11 インストールが完了したら「閉じる」をクリックし、インストールを終了してください。



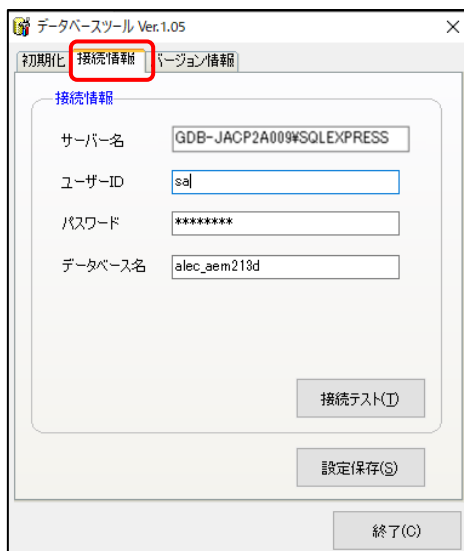
手順3 AEM213-D から SQL Server に接続し、データベースを初期化します

3-1 ファイルの起動

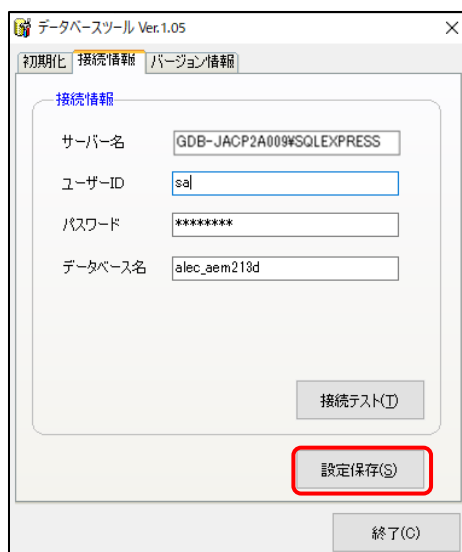
パソコン内の「PC > Windows (C:) > Program Files (x86) > JFE Advantech > AEM213-D > DataBaseSetting」にあるファイル「Aem213_d_db.exe」を起動し、「接続情報」タブをクリックしてください。

3-2 パスワードを入力し、その他の項目が正しいことを確認してください。

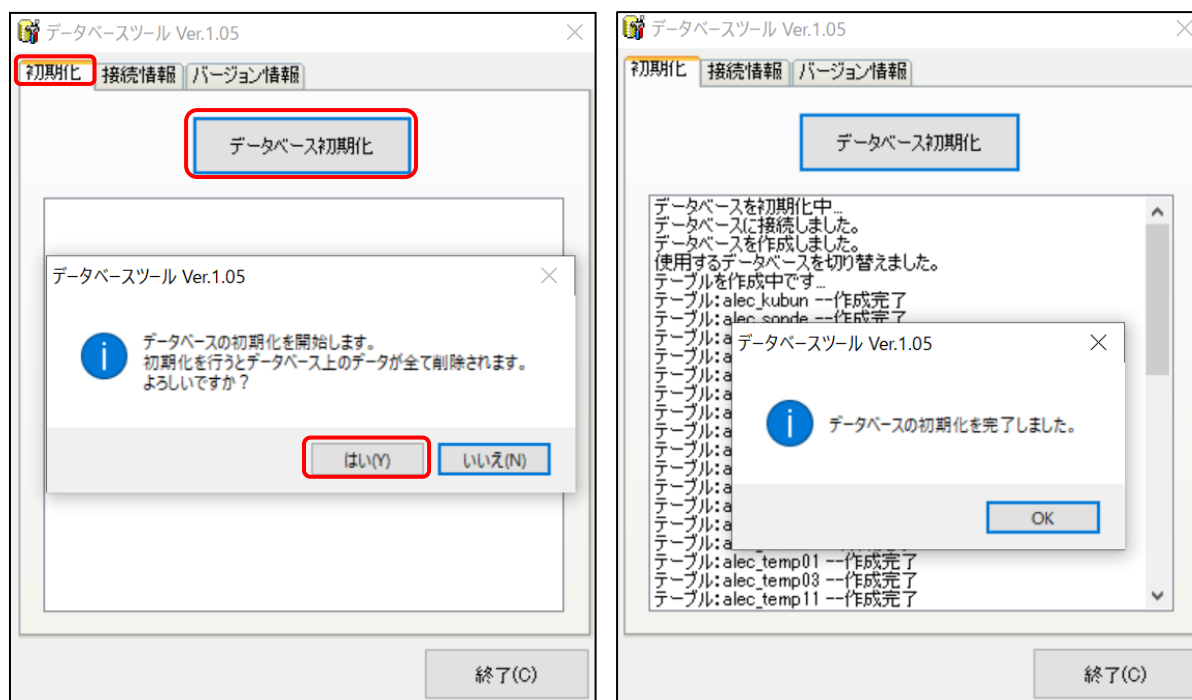
- ・サーバー名：PC 名¥SQLEXPRESS（手順2の「インスタンスの構成」で確認した名前）
- ・ユーザーID：sa
- ・パスワード：手順2で設定したパスワード
- ・データベース名：alec_aem213d



3-3 「設定保存」をクリックしてください。

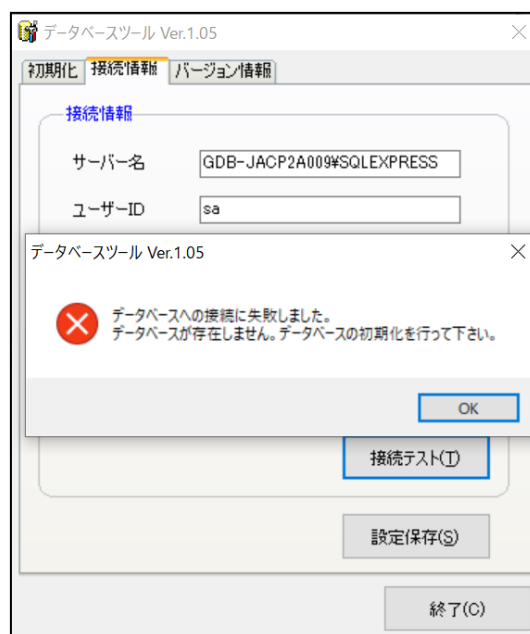


3-4 「初期化」タブを開き、「データベース初期化」→「はい (Y)」の順にクリックしてください。データベースの初期化が完了すれば終了です（下図右）。



※初期化がうまくいかない場合は、サーバー名およびパスワードが合っているかを確認してください。

「接続情報」タブで「接続テスト」をクリックしてください。「データベースの初期化を行ってください。」を含むメッセージが表示される場合は、サーバー名およびパスワードは正しく設定されています。もう一度「設定保存」をクリックし、初期化を試してください。



「ユーザーID、パスワードを確認して下さい。」を含むメッセージが表示される場合（下図左）は、パスワードが誤っている可能性がありますので、パスワードを確認してください。

「データベースが存在しません。」を含むメッセージが表示される場合は（接続テストをクリックした後、しばらく時間がかかります）（下図右）、サーバー名が誤っている可能性がありますので、サーバー名を確認してください（「接続情報」の設定内容を参照）。

